

窓 簡

第40号



平成9年9月刊

東京都立文京高等学校同窓会誌

平成9年度同窓会役員

会 長	静谷 晴夫 (四B)
副 会 長 (名簿)	榎本 幸三 (4E)
〃 (総務)	林 敏子 (5D)
〃 (集い)	若尾 迪治 (10A)
会 計	太田 敏夫 (3A)
常任幹事 (企画)	横澤 靖夫 (2C)
〃 (会報)	杉本 安弘 (12C)
〃 (集い)	斉藤 智夫 (29F)
監 査	八木 俊雄 (一C)
〃	河野 一郎 (2A)
在校OB教諭	太田 晶也 (4A)
〃	竹内 常夫 (12F)
〃	飯沼 美雄 (23C)
〃	渡部 曜 (23H)

期の表示について、本誌を通じて漢数字は旧制
中学校卒を、洋数字は新制高校卒を意味します。

目 次

同窓会長挨拶……………	静谷晴夫(四B)	1
平成九年度 同窓会活動概要……………		2
悼む 渡辺剛彰氏……………	渡辺 元(一A)	4
母校だより(教職員異動など)……………		5
直撃インタビュー②① 村口昌之氏(5B)……………		6
会員活動状況など……………		8
へ校史の「コマ」③……………		11
大学進学 of 黄金時代……………	小林一夫(一B)	12
卒業生進路状況……………		16
奨学基金・運営協賛金等協力者名……………		3
予算・会計報告……………		3

'97年回帰の年 “同窓生の集い”に

参加しましょう！ 楽しみましょう！ 懐しい先生がたもご出席されます。

10月19日(日) 午後2時～ 母校にて

日 時	平成9年10月19日(日) 午後2時～4時30分
場 所	母校 4階 視聴覚教室(予定)
内 容	軽食と飲み物で懇親会を行いますので、クラス会・クラブOB会にもご利用下さい。
会 費	3,000円 ……同封の専用払込票をご利用下さい。(締切/10月6日)
	◎ 恩師・旧職員はご招待です。是非ご出席の程お願い致します。

御招待

卒業25年 ➡ 24期(昭和47年3月卒業)

卒業50年 ➡ 旧制一・二・三期 の方々は全員ご参加下さい！

上記の期をご担任された先生で、当日御出席予定は、(順不同)

金子 熙先生, 田崎幾太郎先生, 築山 博先生, 菅野二郎先生, 渡井栄一郎先生,
大畑正一先生, 亀井(楡井)寿子先生, 稲留土州先生, 渡辺剛志先生, 太田敏夫先生
です。

同窓会は着実に前進しています。

「集い」をはじめ 諸活動にご参加を！

同窓会会長 静谷 晴夫

今年度も同窓会長を勤めるようご推薦を頂きました静谷でございます。

榎本副会長ほか役員全員及び清水一彦君（2期A）、等の新しい方々にもお手伝い頂き、昨年度より僅かでも前進するよう努力する所存です。

同窓生の集いでは、昨年卒業後25年になる23期の方々をご招待いたしましたところ、多数の卒業生にご出席頂き、楽しい一時を過ごすことが出来ました。文京高卒業後、25年振りに顔を合せた方々も沢山におられました。今年度も是非お集り頂ければと希望しております。今年度は同様の企画を更に拡大することに致しました。即ち、卒業後25年の24期の方々をお招きするとともに、卒業後50年を迎えられた旧制中学校卒の一・二・三期の大先輩方もご一緒に招待申し上げることに致しました。是非とも多数で出席下さいますようお願い申し上げます。



当時の先生方にも、大勢ご出席頂けますようお願いを申し上げます。恩師を囲み、25年・50年振りのクラス会・同期会をお開き下さることを期待しております。若

尾副会長を始め斉藤智夫君（29期F）等の若手が、盛会を期して準備を進めております。

同窓会名簿も、榎本副会長を始め清水一彦君の協力でコンピュータ化が完成、新しい時代への基礎造りの第一歩を進めることが出来、目標に近づいております。

同窓会の組織改革には、横沢靖夫君（2期C）の尽力で、今迄遅れていた幹事の選出等の部分が昨年から改善が進められ、同窓会組織の活性化が促進されることと期待しております。

同窓会誌「紫笥」は、卒業生と同窓会とを結ぶ唯一の媒体として、重要性を増しておりますが、送料の値上げにもか、わらず、その内容の改善に、杉本安弘君（12期C）が頑張ってくれております。

複雑な経理をまとめ、学校との連絡に苦心する太田敏夫君（3期A）、総務として役員との連絡調整にあたる林副会長、同窓会に全体としての指針を与え、助言を頂いている八木（旧一期C）、河野（2期A）の両監査、在校教諭として学校側との連絡に当たって下さっている渡辺曜（23期H）、太田昌也（4期A）、竹内常夫（12期F）、飯沼美雄（23期C）の諸先生を中心に、同窓会は一歩づつ前進しております。

最後に、同窓会を絶えずご支援頂き、何かとご便宜をはかって下さっております水谷校長先生、宮島教頭先生、高倉事務長に、心から感謝申し上げます、ご挨拶と致します。

平成九年度 同窓会活動概要

一、「同窓生の集い」の開催——卒業25年・50年はご招待

(一) 今年の「同窓生の集い」は10月19日(日)母校にて開催いたします。平成5年「集い」が母校で開催されてから5回目の記念すべき大会です。親しい友人を誘ってご参加下さい。(内容詳細は表紙裏ページ下段を御覧下さい。)

(二) 昨年は卒業後25年(23期)をご招待したところ、七十数人の方が参加され大成功でした。また23期は学園紛争世代のため学校と心理的に距離を置いていた方が多く、新装された校舎を見て久しぶりに旧友と話すことによりわだかまりが永解されたようでした。

今年は卒業後25年(24期)と卒業50年になった旧制中学校一・二・三期生もご招待することに致しました。古稀または直前の方と思いますが奮って御出席下さい。

二、同窓会名簿の電算化の推進

(一) 今年度中に電算化は完了します。既ちこの「紫笥」に同封した新名簿(卒業したクラス分)は37期(昭和60年3月卒)以前の方は新方式になっており「宛名シール」化もしました。残りの方も今年度中に完了します。

(二) 郵便番号七桁化対応——明年二月二日より実施される七桁化に対応した名簿を前項の電算化と一緒に本年度中に完了。明年三月発行の名簿は全員「電算化・七桁化」してまいります。

へ**会員各位**にお願い——同封の各卒業級の名簿の空白部分を埋めるように、また誤り・変更がある場合は同窓会宛郵便(電話は不可)にてご連絡下さい。

特に今回は電算化過程で、前の名簿をスキヤナーで読み込んだため、十分注意し修正しましたが、ミスプリントがあるかも知れません。事情ご賢察の上前記同様同窓会宛郵便にてご連絡お願い致します。

三、同窓会のより一層の活性化

まずクラス幹事の見直しを実施中。横澤靖夫氏(2期C)

より全クラス幹事(名簿に◎印のついでいる方で現在四〇六クラス約七六〇人)に対してアンケートを実施。一部のクラスでは実際活動できる方に変更されました。本年5月のクラス幹事会には昨年の倍近くの方が出席熱心な討論が行なわれました。現状及び問題点については次頁に記載いたします。

四、会報「紫笥」の発行——内容の充実を図る。

37号より判形を変更しより読みやすく解りやすい同窓生のコミュニケーション誌をめざしております。郵便法で封筒込でへ定形50gまで90円という制約があり(50gを超えると100gまで190円)スペース的にはこれがほぼ限界です。

内容の充実のため、同窓生の活動状況を極力多数掲載したい。(意外に同窓生の活躍を知らないものです。)著書出版・音楽や演劇等の公演・テレビなどへの出演・展覧会出品や個展・スポーツその他を短くまとめお寄せ下さい。毎年七月上旬迄に封筒の表に「紫笥原稿在中」と書き添えて同窓会宛郵送願います。

お知らせ

1、払込取扱票が二枚入っております。

一枚は「同窓生の集い会費」(三千元)専用です。出席予定者は十月六日迄にこれをご使用払込み下さい。

もう一枚は、**奨学賛助金**(一口五千元)、**名簿**(四千五百円)購入申し込み、及び**同窓会運営協賛金**の払込みにご利用下さい。払込取扱票には、お手数でも氏名、住所、卒期(名簿ページ)や送金目的をきちんとお書き下さい。

2、同窓会への連絡は郵便で(電話は不可)

同窓会への連絡は「〒170-0001 東京都豊島区西巢鴨一丁目一番五号 東京都立文京高校同窓会」宛郵送にてお願いいたします。母校にて事務の方が「同窓会のメールボックス」に入れ在校OB教諭が開封しております。電話ですと在校OB教諭が授業中などつながらないケースが多く母校に迷惑をかけるのでおやめ下さい。

文京高校の新郵便番号
〒 170-0001

〈インサイドストーリー No. 2〉 クラス幹事の活性度を検証する

昨年「紫笥」39号3ページで〈インサイドストーリー〉同窓会はこうありたいを掲載しました。その中で、組織上の最大の問題点として「クラス幹事が機能していない」と問題提起しました。この点につき企画担当の横沢靖夫氏（2期C）が全幹事に葉書アンケートを実施、また一部幹事に電話取材する等の活動を行い、一部のクラスでは活動する方に幹事が代わる等活性化の動きがでてきました。現状と問題点についてまとめてみました。

1. クラス幹事の有無 旧制一期から今年卒業の49期まで406クラスあるが、幹事不在クラスが30クラスもある。一Aのように渡辺剛彰氏死去に伴ない後任選出中というケースもあるが、今春卒業の49期は8クラス中、3クラスで幹事不選出という前代未聞の現象が発生しており、再発防止の為、学校側と問題点を明確にする必要がある。

年代別 (卒業期)	学年数	クラス数	幹事不在クラス数	幹事不在クラス
60歳代 (旧一期～7期)	10	51	7	一A, 二C, 二D, 三B, 三D, 3B, 3D
50歳代 (8期～17期)	10	67	3	9C, 9F, 11C
40歳代 (18期～27期)	10	91	6	20G, 21A, 22C, 22I, 26A, 27D
30歳代 (28期～37期)	10	91	7	28A, 28C, 28F, 30D, 32C, 36G, 36J
20歳代 (38期～47期)	10	90	4	44I, 45D, 45I, 46F
10歳代 (48期と49期)	2	16	3	49A, 49C, 49G
計	52	406	30	

2. 幹事会への出席状況 幹事会は年度初の4月か5月に開催
平成5年の41名をピークに下降線をたどったが、9年は横沢氏の呼びかけに応じてか42名の出席があり、熱心な討論が行われた。但し42名では全クラスの10%でしかない。
また新卒時は出席するが次回からは出席しない人がほとんど。例外は内藤裕義君（47B）で卒業後3回とも皆勤。

平成	4年	5年	6年	7年	8年	9年
全出席者	31名	41名	36名	34名	24名	42名
うち新卒者	7名	6名	7名	6名	5名	2名

3. 過去6年間のうち3回以上出席した幹事は23名。〈敬称略〉 ★印は役員以外の方
一B★末 正明 2C 横沢 靖夫 8B★石井 恵 12F 杉本 安弘 29F 齊藤 智夫
一C 八木 俊雄 3A 太田 敏夫 10A 若尾 迪治 18C★野中 滋 32A★下山 哲也
二A★樋口 良雄 4D★静谷 栄夫 11E★君崎 悦子 23C 飯沼 美雄 47B★内藤 裕義
四B 静谷 晴夫 4E 榎本 幸三 11F★上田 妙子 23H 渡部 曜
2A 河野 一郎 5D 林 敏子 12A★鈴木ミイ子 26I★佐藤 美子

- 提言**
- 1) 幹事不在クラスはなくそう。
 - 2) 幹事は年度初の幹事会に出席しよう。活動できない時（例：海外・地方勤務）は代りの人を選出し、同窓会宛、変更届を提出しよう。
 - 3) 幹事会にどうしても出席できない時は「欠席する。当日の議事内容を送付願いたい」旨の連絡・依頼をしましょう。
 - 4) 幹事会の開催時期・回数を再検討しよう。役員会で討議しますがご意見をどうぞ!!

(文責/杉本 安弘)

悼む 渡辺剛彰氏（旧一期A）

旧制一期の大先輩 渡辺剛彰氏は平成八年十一月十五日逝去。享年69。昭和38年（平成4年）の30年間同窓会長。弁護士・日本吟道学院総裁・記憶術の名人等マルチタレントとして大活躍されました。ご冥福をお祈りいたします。

葬儀において、市立三中入学以来の親友、渡辺元氏が友人代表として弔辞を奉呈。同姓の二人が生涯にわたって呼びあつた「ゴシヨウ」「ゲン」の呼び名が、少年の日々を如実に浮び上らせております。元氏ならびに喪主（奥様）ユキ子様の御了解を得て掲載させていただきます。（紙面の都合上一部割愛させていただきました。）

弔辞（友人代表） 渡辺 元（旧一期A）

十一月十四日、奥様から君の病篤いと知らされ、仰天しました。あれだけ元気に活躍し、一年前に会った時も、あのエネルギーにいささかの衰えも見られなかったのに、その後、不治の病が進行していったとは。

そして衰弱はしていても、まだ意識のはっきりしていた君と、懐しい昔の山登りの話などとして、辞去した翌十五日、君の永眠の報が届こうとは。

振りかえれば、昭和十五年春、東京市立三中に入学した君は、A組で通路を隔てて私と隣り合わせの席となり、これが私達の出逢いの初めでした。君はその頃から大人びた風貌と早くも出はじめたニキビで、その他の少年達と異つた雰囲気をもっていました。一クラスに「渡辺」が二人いるのを煩わしがつた先生が、私達の姓を省略し、音読みで名だけを「ゴシヨウ」「ゲン」と呼び慣らしてから、クラスのみなならず、学年間の通称として今日に至ります。そのゴシヨウが学年にその名を轟ろかすのに、時間はかかりませんでした。



入学した夏、妙高高原の合宿の夜の団欒の間で、君は東京から持参した箱でお化けの紙芝居をやったのけたのです。真に迫つたお化けの手つきの演技に、二百人の仲間も、怖い体操教師も、校長先生も笑いころげる一幕となり、A組に「ゴシヨウあり」と一躍有名になります。

創立50周年・校舎改築記念式典で同窓会長として挨拶する。（平4・10・17）

さらに、秋の運動会の八百メートル競走では、はじめのピリから、十数人をごぼう抜きにして一等になり、ゴシヨウの名を不動にします。学校の授業の面では、ほとんど予習復習をせず、ノートは簡潔、テストの準備はほとんど一夜漬。それでも成績は常にトップクラスを維持したのは、頭の回転の速さと抜群の集中力によるものであり、これは後に記憶術の集大成につながるものでした。二年、三年生の頃は早くも文学書に没頭し、自ら作詩作曲し、アコーディオンを弾いて聞かせる早熟ぶりですが、後日詩吟の大先生として活躍する素地は、既に培われていたと思われまふ。戦争末期の厳しい制約の中でも、君は自分を見失うことなく、個性的な成長を続け、四年修了で、難関旧制武蔵高校の理科に進学する英才ぶりを発揮しています。

その頃、B29の大空襲で私の家が焼け落ちた翌日、焼跡にヒョッコリ君が現われ、私の家を心配し、本郷から歩いて来たというのです。「西片町は焼け残ったから俺の家へ来い」という君の誘いの声は暖かく心に滲み通り、一緒に西片町へ向かい、敗戦直前まで居候して、学徒動員に通うことができたのも、君の厚く暖い友情のおかげでした。

敗戦後は、自由奔放な君に相応しい時代となり、理科から文科へ移った君は小説書きに没頭し、大学は英文科へ進学したので、てっきり作家になると思つていた私は、英文科卒業と同時に司法試験合格という離れ技を成功させた君に、あらためて驚嘆させられました。天賦の才能と絶倫のエネルギーに加えて、中学以来培ってきた集中力がなせる技であつたでしょう。もうこの時、記憶術の力が効を發したと後日君は言っております。（中略）

社会人となつた君の八面六臂の大活躍は周知の通りであります。君は推されて母校の後身・文京高等学校の同窓会会長を永年引き受けられ、母校の発展と同窓生の親睦に甚大な功績を残されました。

そして、古稀も間近、これからはゆとりの生活という時、不治の病を得た君の無念さは察するに余りあります。（中略）六十九歳という人生は、今や長いとは言えないけれども、君の人生は、その広さ深さにおいて常人の数倍のボリュームがあり、その意味で数人分の人生を一人で生ききつたように思われてなりません。（中略）

剛彰君。今、こうして君の遺影に向かうと万感胸に迫ります。君との最後の握手、そのぬくもりはまださめやらず、私の掌の中に残っています。

「また会おう」と言つた私。「ありがとう」と低く小さいがはつきりと言つた君。

またお会いする時も、そう遠くはないのだから、美しい山、美しいお花畑を見つけてしばらく待つてほしい。

ゴシヨウよ、君の五十六年間の友情に感謝し、ご冥福を祈ります。

職員人事異動（平成9年）

（敬称略）

定年退職

三上 修 英語（平成元年～）志村高（嘱託）に
 山崎達一郎 物理（平成4年～）
 木内美智子 英語（平成4年～）
 多胡喜代志 事務（平成6年～）牛込高（嘱託）に
 転出
 勝部 純明 教頭（平成8年～）教育庁に
 日達 晴江 体育（昭和60年～）調布北高に
 賀持 勝男 音楽（平成元年～）西高に
 森 孝子 事務（平成5年～）豊島区平和小に
 高橋真里子 事務（平成5年～）主税局に
 二瓶 啓子 司書（平成4年～）北豊島工業高に

転入

宮島 二郎 教頭 野津田高より
 青木 栄子 体育 高島高より
 三浦 浩史 音楽 町田高より
 石島 克彦 地歴 北園高より
 平戸 登 地歴 大島高より
 白石 二郎 事務 渋谷区松濤中より
 石山美佐子 事務 志村高より
 佐藤 愛子 事務 清掃局より
 河野 浜子 司書 日比谷高より
 金子美代子 用務 大塚聾学校より

恩師訃報

竹村 茂一先生 平成七年七月十三日逝去
 数学 昭和18年市立三中～昭和44年勤務
 石川 秀次先生 平成九年五月八日逝去
 教頭（理科） 昭和52年～58年勤務
 木村 治郎先生 平成九年八月三日逝去
 地学 昭和38年～59年勤務
 三先生のご冥福をお祈りいたします。

母校がミニ防災拠点に

校庭地下に災害用飲料水貯水槽の設置

高倉 靖夫（事務長）

東京都は大規模な地震の発生時には飲料水の確保、火災時には消火用水として母校校庭地下に100m³の循環式貯水槽を本年3月に設置した。

これは関東大震災の再発の予想期間（70年周期説）に入り、また一昨年の阪神・淡路大震災の教訓より、学校が被災者の避難場所となる事態を想定しているからです。

この貯水槽の概要は次のとおりです。

1. 1人1日3ℓ（生命維持に必要な最低量）の飲料水を1万人の方が3日間使用できる飲料水を確保する。
 $3\ell \times 3日 \times 1万人 = 9万\ell = 90kl = 90m^3$
2. 構造 直径3m×長さ15mの円筒型の全鋼板性溶接構造（震度7の地震にも耐えられる）
 容量は $(1.5m)^2 \times 3.14 \times 15m \div 106m^3$
3. 水道管と直結して常に循環され、新しい水が流れています。
4. 地震時、震動で配水管がこわれると自動的に安全弁が作動し、水槽内の水が飲料水として確保される。
5. 動力または手動ポンプで水を吸みあげてから給水する。
6. 火元が近く消火用水が不足する時は優先的に消火用水としても使用可能です。
7. 管理は東京都水道局北部第一支所が行っております。

《人生はクジがはずれて、そこから始まる》

昭和28年3月卒（5期B）

昭和34年 東京工業大学建築学科卒業 大成建設に就職するが、翌年母校の清家研究室に戻る。
昭和36年 ニューデリー博覧会日本館で渡印。その後仏・独・スイスの設計事務所勤務。昭和40年帰国。昭和44年大阪万博スイス館を共同設計。昭和45年 村口計画設計事務所（現・スペースコンセプト）を設立 代表に。また昭和63年 日本工業大学建築学科教授に。

Q 村口さんは新制5期ですが、戦後六三三制の新制中学第一期生で、文京高校に試験で入った初めての期ですね。

A ぼくらは小学校に行っていない。（え？） 小学校に入ろうとした昭和16年に「国民学校」と改称し、「国民学校」を卒業（昭和22年）して、新制中学校（豊島区立千川中学校）に入り、昭和25年初の新制高校で、学区制だったので、小石川を受け、落ちて、補欠募集で文京に入れていただきました。「人生はクジにはずれて、そこから始まる」というわけ。家は昔は巣鴨にあったから戦前毎日ゲートルをはいて戦闘帽をかぶり大塚駅から整列登校するすごい学校があることは知っていたが、まさか自分が入るとは思わなかった。

Q 高校時代はどうでしたか。

A すばらしい先生や同級生におあいできてすごくよかったです。担任の金指昇先生（物理）、数学の照屋先生・中屋先生、英語の金子先生・越川先生・小島先生、国語の坂本先生、化学の天野（現・奥田）先生に教えていただきました。生物の石上先生、歴史の橋先生・菅野先生には時々お目にかかります。懐かしいですね。「至誠一貫」も……。目黒区倫理法人会に入っていますが、今の社会は倫理が欠けていますね。

Q 村口さんは西巣鴨のモデル校舎で学ばれましたか。

A 三年生の一年間だけ。スマートなバルコニーの付いたピカピカの建物だった。なぜ壊したのかな。鉄筋なら百年はもつのに。日本人はコンクリート造りも木造意識でやっています。文京のモデル校舎をすぐ建て直すのも木造意識からでしょうね。

Q 文京を卒業されてからは。

A 一浪して東工大に入り、五年間いました。清家研究室に入りました。

清家清先生は住宅設計では、第一人者で、東京美術学校と東工大の二校を卒業され、「建築とは芸術的なものと技術的なものの融合」が持論でした。日本の建築は技術的なものを優先しすぎており、現在吹き出している社会問題・環境問題も戦後の「ただ今、用を足せばよい」という考え方から起こっていると思います。もっと長期計画的にゆとり・人間的リズムをもつ住宅・建築・都市をつくっていれば、日本人の心もやさしく豊かになると思うのですが。

Q 東工大を卒業後は？

A 大成建設に入社し、銀行ばかり設計していたので、一年で研究室に戻りました。昭和36年ニューデリー博覧会の日本館設計のためインドに行きました。当時海外に行くのは難しく、先方の招待状がなければならずしかも外貨持ち出しは五〇〇ドル（一ドル三六〇円）まででした。以降五年間清家先生が欧州で武者修行してこいというので、初めパリの都市計画事務所半年ほどいましたが、フランス語ができず、次いでデュッセルドルフの建築事務所に二年間いました。当時ドイツでは冷戦華やかなりし頃ですので、原爆シェルター付の建築をつくらねばならない。それがいやで、スイスに行けば中立で平和な国だと思いチューリッヒに行きました。駅の公衆電話帳をやぶりABC順に約三十の設計事務所に行きまわりました。結果としてチューリッヒでは二か所の建築設計事務所でもくまいました。結果としてチューリッヒでは二か所の建築設計事務所でもくまいました。スイスの都市計画では「人の歩く道」を大事にする。人にいい景色の所を安らかに歩かせる「散歩地図」なども作成しました。スイスのアルプスの中も原爆シェルターが沢山ありました。

Q そして七十年大阪万博のスイス館の設計を行ったわけですね。

A 二番目の建築事務所のアルフレット・ロート氏（チューリッヒ工科大



学教授)の助手のウィリーワルター氏のコ・アーティテクトとしてスイス館の設計を行いました。このスイス館の設計料を元手に独立、村口設計事務所を設立しました。その後「スペース コンセプト」と改称しました。

Q 「スペース コンセプト」と名づけられた理由は。

A 「スペース コンセプト」の意味は「空間のころろ」です。一番大事なのは物と物との間の「間」だと思うのです。欧州では空白に対し恐怖(フォロ・バキュア)がある。日本では昔から「色即是空」といって物は空であるという考え方がありますが、最近では日本人の方がフォロ・バキュアになり、欧州人が「間」の大切さがわかってきたみたい。

Q 村口さんが設計したものは？

A 事務所、学校、教会、寺院、病院、工場、マンション等と住宅が多数ありますが、文京の同級生七人と照屋先生のお宅も設計しました。自宅は実験住宅で「シリンドラー381」と名付けました。円筒型で直径6mで二階建。飛行機の胴体みたいにフレキシブルで381m²です。日本は建物を坪(面積)でしか表示しません。本来人間空間ですから体積で表示すべきです。日本工業大学の建物も沢山設計しました。九十周年の学生センターをはじめ数棟つくっています。

Q 昭和63年に日本工業大学教授になられたわけですね。何を教えていらっしゃるのでしょうか。

A 建築デザインと設計を教えています。今の仕事は「スペース・コンセプト」がメインで半分、あと半分が大学です。

縁とはおもしろいですね。日本工業大学では四十〜五十人の先生のうち一時は五人も文京OBがいました。町山忠弘先生(三期D)は名物教授でしたが、惜しいことに最近亡くなりました。現在機械工学科の主任教授が柳沢章先生(14期F)で、その他に正道寺勉先生(20期H)、鈴木仁先生(21期E)がいます。

Q そういえば村口さんはTVCMに出演されたことがありますね。

A 二十年前 キリンシーグラムのTVCMで「建築家 村口昌之 四十才ロバート・ブラウンを語る」というやつ。はじめ適任の人を探してという依頼でしたが皆ことわられ自分が出るはめに、あれを一年間流していましたから、てれくさかったな。

Q 最近 奥様と海外旅行に行かれましたね。

A 家内の曾祖父がツイーリンスキーというワルシャワ大学の教授で、ユーロピアンユニオン(EU)の提唱者の一人です。今年の六月六日ミュンヘンで没後五十周年を記念してドイツとポーランド共催でシンポジウムがあり、家内が血縁で招待を受け私はカバン持ちで行きました。

Q ツイーリンスキーと奥さんの関係を教えてください。

A ツイーリンスキーはポーランド人で哲学者、言語学者、古代ギリシャ学者で11の大学の名誉教授という大学者でしたが、その奥さんがドイツ人で、娘さんの一人が日本人と結婚し日本に来たわけです。その孫が家内でした。ツイーリンスキーの血統は欧州では戦争などで絶え、日本にしかいなくなったということですが。

私は謡曲を祖父の影響で十六〜十七年やっています。六月六日のシンポジウムの後、モニュメントの除幕式で、家内はスピーチし、私は「高砂」を謡い、内容を説明しました。それが翌日の新聞に「ドイツとポーランドが結婚する」というおめでたい歌」と紹介された。ドイツはポーランドと仲直りしようとしていますからね。謡は下手でもミュンヘンでうたうと大きな意味をもちます。

「ツイーリンスキーは欧州の偉大な人物ですが、世界の偉大な人物になりました。娘さんが日本に来たことで」と話したら、ものすごい拍手でした。世界は広いようで狭いです。若い人達にはもっと勇気をもって海外に行つてほしいですね。私が海外に行つた三十数年前とくらべると自由は安価に行けるのですから。

文京で照屋先生・金指先生等に教わったこと、大学で清家先生に教わったことを若い人達に伝えるのが役目だと思っております。クジにははづれましょう。

“同窓生の集い”に百五十名

23期(卒業25年)招待で盛り上がる(平成八年)

昨年の「同窓生の集い」は10月20日(日)午後2時から4時まで、母校視聴覚教室で開催された。恩師十二名、卒業生約百五十名という盛会となりました。

当日は斉藤智夫氏(29期F)の司会で開会、静谷同窓会長の挨拶に続き、水谷新校長先生のご祝辞もあり、林副会長の乾盃の発声で開宴。今回から新企画の「卒業25年」の同窓生と当時



クラス別記念撮影(23期C)

の恩師をお招きしたところ23期生

(昭和46年3月卒)73名と恩師6名がご出席されました。この期の在校生時代は、母校も学園紛争の時代であり、クラスのまとまりも少ない卒業生達で、卒業後初めて母校に来られた方が大半でした。

在校教諭の渡部曜・飯沼美雄両先生の卒業時の同期生で、お二人のご尽力により同期生が集まりました。

23期関係の出席者は恩師6名(田崎幾太郎先生、太田泰弘先生、太田三郎先生、松浦桂子先生、塩田徹先生、杉谷治行先生)と卒業生73名(クラス別に、A4、B5、C20、D3、E11、F11、G9、H6、I4)です。

なお恒例のビンゴゲームでは鈴木孝氏(13期C)が二度とも優勝し会長寄贈の名酒二本両手にかかえたのが印象的でした。

本年も10月19日(日)に開催しますので、皆様(特に23期生)奮ってご参加下さい。(開催案内は表紙裏ページ下段をご覧下さい。)

古稀となった旧制一期生は「生きていくうちに集ろう」と「集い」のあと大同期会を計画。他の期も見習いましょう。

難病治療のため上京、子は入院、そばに いたい親に宿泊施設「鴨のへや」を提供

鴨下弘(8期B) 祥子(10期F) 夫妻

重い病気の子に最先端の医療を受けさせたい。そして、少しでもそばにいてやりたい。都内の大きな病院には、難病の子どもが全国から治療を受けに来ている。治療が長期化した場合、困るのが親たちの泊まる所だ。最近、そんな家族のために、利用料が安くて心休まる宿泊施設を提供しようという民間ボランティアの活動が少しずつ広まってきた。その一つが「鴨のへや」(清瀬市梅園三丁目)である。

「鴨のへや」を提供しているのは鴨下弘氏(8期B)と祥子さん(10期F、旧姓今関)夫妻だ。三年前、次女麻実さん(当時21)を十六年間の闘病の末に亡くした。麻実さんは生前、入院している子どもたちの親たちが泊まる場所に困っているのを見かね、「安心して泊まれる場所を作ってあげて」と話していた。

鴨下夫妻は、もとは麻実さんの治療のために病院近くに建てた自宅を平成六年夏に増築した。麻実さんの将来のために蓄えた一千万円をつぎ込んだ。部屋は二室。名前は麻実さんが友だちから呼ばれていた愛称の「かも」からとった。

祥子さんは「母親は看病と家庭のことで忙しいけれど、心も体も元気にして子どもに接してほしい。宿泊施設を提供することで、お手伝いができたらと願っています。個人の力では限界があります。病院に宿泊施設ができるのが一番よいのですが」と話した。

(7・12・25 朝日新聞より)

第四回「東京校歌祭」に参加

昨年11月4日(振休)午後一時から五時まで日比谷公会堂で



撮影/野上 透氏(上野高校OB)

第四回「東京校歌祭」が開催され、これまで最多数の21校(都立18校、私立3校)が集いました。本校からは旧一期から46期に至る23名が参加、杉本安弘氏(12期C)の学校紹介、小森豊氏(43期E)の指揮、小林美香さん(46期F)のピアノ伴奏で、市立三中校歌「豊島が岡の辺神明の杜に……」と文京高校校歌「椎のかげ枝ふかく茂れるところ……」と市立三中応援歌「深き谷間の岩清水……」の三曲を披露しました。一昨年の校旗の制作に続いて、昨年は応援歌を復活

させました。また今回は「紫筍」の呼びかけに応じて声量の多い方々や渋谷夫妻の参加など話題が多かった。

今回の参加者は次のとおり(敬称略)

〔一期〕末正明・八木俊雄・土屋英雄、〔二期〕藤ヶ谷敏明、山本正彦、〔四期〕高橋明、〔二期〕清水一彦・森理・横沢靖夫、〔五期〕林敏子、〔12期〕杉本安弘・滝谷敬一郎、〔15期〕井上芙美代、〔21期〕渋谷徳幸、〔25期〕渋谷弘美、〔42期〕川越広一、〔43期〕小森豊、〔44期〕宮川絵美子・桐原理佳子、〔45期〕前川直也・森田純・松本英男、〔46期〕小林美香

(滝谷敬一郎 12期D)

〔追記〕昨年12月14日、校歌祭の反省会と森田純君の米国留学の送別会を神田神保町の「咸亨酒店」で開き14名が参加しました。校歌祭に参加することにより、他校同窓会とのコミュニケーションが良化し、新旧同窓生のきずなが強化しております。

(杉本安弘 12期C)

今年は9月20日(土) ◆第五回 校歌祭◆

市立三中校歌、同校応援歌、文京校歌を

「謳歌」しよう。

今年の「東京校歌祭」も東京都の後援も得られ、参加校も都立一商、都立三商が加わり23校となります。

日時▼9月20日(土)午後1時～5時 我校は2時15分頃出演

会場▼日比谷公会堂(入場無料)……改築後のこけら落とし

演目▼新旧校歌と三中応援歌の三曲。

この記事をご覧になるとすぐ本番ですので、いづれか一曲が歌える方は是非ご参加下さい。連絡先は、

〒174 板橋区小豆沢四ノ十一ノ三 杉本安弘

中国沙漠を緑化する「緑の協力隊」に参加して

内蒙古にポプラ・柳を植林

還暦日前の内田忠敬氏（8期D）

内田（旧姓・渡辺）忠敬氏は昨年3月28日～4月4日の八日間「緑の協力隊」第37次隊に参加し、北京から夜行列車・バスで約20時間、沙漠緑化の基地「恩格貝（オンカクバイ）」でポプラ・柳を60本植林してきた。（一隊は約50人なので計三千本植林）

内田氏は「草炭研究会」での遠山正瑛鳥取大学教授の「草炭を用いて沙漠を緑化する研究」に感銘を受け、還暦を前にして「緑の協力隊」に参加した。しかも37次隊にこだわったのは生年が一九三七年で日中戦争勃発の年だからです。

河野一郎氏（2期A）第二作

「定年後は夫婦で海外の旅を愉しみなさい」を出版

平成6年11月「定年後の二十年は夫婦で旅を愉しみなさい」を出版しベストセラーとなった河野一郎氏は、「定年後の夫婦には、ゆっくりのんびりの旅が似合います」と第二作を明日香出版社より本年4月15日に出版した。御自身の体験に裏付けられた本書もベストセラーになることは確実でしょう。

価格は千三百円（税抜）

ピアノリサイタル「三大作曲家の夕べ」に同窓生を御招待

増田（旧姓・香川）理恵（30期A）

昭和53年3月文京高校を卒業し、国立音楽大学に進み、以後ピアノ演奏と指導をしております。十二月十七日(水)にリサイタルを開催いたしますので、文京の同窓生の中でクラシック音楽のお好きな方、また同窓生のコンサートに興味をお持ちの方がいらっしやいましたら、手紙でご連絡下さい。チケットをお送りいたします。

リサイタルの日時▼12月17日(水) 19時開演

場所▼こまばエミナース(井の頭線駒場東大前下車徒歩五分)

曲目▼バッハ フランス組曲 第五番

ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 第三十一番

ブラームス クラリネット・チェロ・ピアノの為に

リオ

共演者▼柳瀬洋氏（クラリネット） 金木博幸氏（チェロ）

来聴ご希望の方は葉書にチケットの希望枚数（お一人三枚迄）を書いて十一月末日迄、次の住所宛お送り下さい。

〒198 青梅市駒木町二ノ三八八ノ七 増田 理恵



なお内田氏は「関電工」に勤務し、東京湾横断道路の建設に従事している。また今秋はIEC（国際電気標準会議）/TC81（避雷設備）の国際会議に出席するためクレタ島に行くことを楽しみにしています。

また内田氏は定年後に備え農地を取得し、既に野菜・果樹の耕作を行っています。

定年退職もまた楽しの心境です。

〈校史の1コマ ③〉

大学進学 of 黄金時代 (?)

昭和35年～44年

小林 一夫 (一期B)

現在の文京高校は昭和15年「第三東京市立中学校」として誕生しました。昭和18年、東京都制実施とともに都立豊島中学校になり、昭和23年六三三制の教育制度改革で都立文京高校となりました。

旧制中学校に入学し新制高校を卒業した4期生(6年間在校)までの大学進学は立派でした。新制中学校卒業者が入学した昭和25年頃は文京区の小学校に間借りしておりました。

昭和28年、生誕の地・西巢鴨に文部省推薦の高校モデルスクール校舎が完成し、やっと教育環境が整ったと思います。そして年々教育の成果が現れ、次第に高校のランクも小石川、北園、文京の順で定着してしましました。竹早、豊島の旧女子校は不利で文京の下に位置づけされた状態でした。

そして右表のような大学進学 of 黄金時代が到来しました。特に昭和35年の現役合格率はすごく、東大3名、一橋2名、東工大1名という快挙でした。一方、昭和36年には東大受験10回で合格した方もおり、「苦節十年」は全国的流行語となりました。

しかし昭和42年学校群制度が施行され、都立高校の衰退が始まりました。その中でも92群(第2学区と第4学区にまたがる)に指定された文京は誠に不運でした。15年後の昭和57年グループ制に変わりましたが都立の衰退、私立(特に中高一貫校)の上昇傾向は変わらず、極限に達した感がありました。都教育庁もようやく、少子化や都市のドーナツ化現象対策として平成6年から単独選抜制を実施しました。これにバブル崩壊が加わり都立高校の挽回の好機と考えられます。

「歴史は繰り返す」と言います。夢よもう一度を願っております。同窓生の皆さんも少しだけ力をお貸し下さい。

(注) 本表は「紫筈」のバックナンバーから作成。但し35年、36年、39年は不記載の為、在校教諭の竹内常夫氏(12期F)に学校資料から復元していただいた。

なお「空欄」は該当者0でなく未記載のケースもあります。

大学別進学状況 (昭和35年～44年)

各年4月の入学者数 (現役+浪人)

年 度	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
国 公 立	52	62	51	78	59	70	68	57	53	54
私 立 大	161	168	141	238	294	315	266	237	215	239
短 大			13	19		16	28	35	44	53
卒業生総数	307	318	358	398	399	425	516	465	454	452

東 大	5	3	2	5	1	1	1	3		
京 大	1	1	2	4		1				
東 北 大	2	4	4	1		3			2	3
北 大	1	2		2	2	1	1	1		4
一 橋 大	3	3	4	3		1	1	3		
東 工 大	2	3	3	2	5	5	3	6	2	1
東 教 大	4	4	2	4	6	5	2	3	3	1
お茶の水大				1						
外 語 大	3	1	1	1	4	3	5	1		1
千 葉 大	9	9	8	8	6	15	8	1	10	10
埼 玉 大		1	3	8	11	8	9	12	14	4
横 国 大	1	2			1	1			1	4
電 通 大	4	6	2	5	1		3	4	2	
学 芸 大		3	4	7	4	2	6	3	7	
農 工 大	3	4	4	4	1	1	2	4	2	
商 船 大		2	1	3		2		1		1
水 産 大	2	3	2	2	2	3			2	
芸 大	1	1		3				1		7
都 立 大	5	5	6	8	8	8	9	8	5	6
横 市 大	1	1			2	1	5	2	3	4

早 大	44	34	26	52	60	59	43	46	35	38
慶 大	16	22	8	12	21	19	22	24	19	14
上 智 大	6	6	7	11	14	19	10	15	8	8
中 央 大	10	18	14	16	22	22	12	22	25	27
明 大	7	20	6	30	20	24	19	12	15	14
立 大	5	8	4	6	8	11	19	9	7	13
法 大		3	5	11	22	17	18	17	12	16
青山学院	7	1	5	10	7	4	2	2	5	8
学 習 院	3	1	7	8	4	5	2	2	3	5
理 科 大	4	2	10	10	12	40	18	11	11	15
I C U	1		1			2		1		
東京女大			1		1					
成 蹊 大				2		4	6	3	4	3
成 城 大			2	5	4	2	3	2	4	1
日本女大			1			1	1	1	1	
芝 浦 工 大			2	1	4	4	1		1	4
武 蔵 工 大	5	6	1	5	7	4	6	3	8	5
国 学 院			2	2			2	2	1	6
明 治 学 院				2		2	4	1	4	5
専 修 大								2	1	
日 大	13	17	13	22	27	11	19	17	14	7
武 蔵 大			1	5		1	2	1	5	6
東 洋 大						2	2	1	3	6
東 海 大							1	1	1	2
独 協 大						2	1	8	2	2
拓 殖 大						1		1		

立正大学	5(2)	2①	7(2)①
和光大学	1		1
早稲田大学	2	1	3
私立大学合計	101(22)⑤	71②	172(22)⑦

2) 短期大学

〔国公立〕

短期大学名	現役	浪人	合計
東京都立短大	1(1)		1(1)
東京都立医療技術短大	1		1
川崎市立看護短大	1		1
国公立短大合計	3(1)		3(1)

〔私立〕

短期大学名	現役	浪人	合計
秋草学園短大	1(1)		1(1)
明の星女子短大	1(1)		1(1)
亜細亜大学短大	2(1)		2(1)
跡見学園女子大学短大	4(3)		4(3)
上野学園大学短大	1		1
大妻女子大学短大	5(1)		5(1)
嘉悦女子短大	3		3
川口短大	1(1)		1(1)
川村短大	1(1)		1(1)
学習院女子短大	1	1	2
駒澤短大	2		2
産能短大	3(3)		3(3)
淑徳短大	4		4
尚美学園短大	2		2
昭和女子大学短大	1		1
十文字学園女子短大	1		1
女子栄養短大	1(1)		1(1)
成城短大	1		1
聖徳大学短大	1(1)		1(1)
創価女子短大	1(1)		1(1)
東京家政大学短大	2(2)		2(2)
東京成徳短大	1		1
東京農業大学短大		1	1
東京立正女子短大	1		1
東洋大学短大	1(1)		1(1)
東横学園女子短大	3(1)		3(1)
富士短大	1		1
文化女子大学短大	1		1
武蔵野女子大学短大	1		1
明治大学短大	2		2

学習院大学	1		1
国立音楽大学	1		1
工学院大学	1		1
國學院大学	1	2	3
国士館大学	2	2	4
駒澤大学	3	6	9
札幌大学	1(1)		1(1)
芝浦工業大学	2②		2②
淑徳大学	2		2
湘南工科大学	1		1
白百合女子大学	1(1)		1(1)
城西大学	5(2)	4	9(2)
女子栄養大学	2(1)		2(1)
駿河台大学	2(1)		2(1)
成蹊大学	2(1)		2(1)
専修大学	2	1	3
拓殖大学		1	1
大東文化大学	6(2)	2	8(2)
千葉商科大学	1(1)		1(1)
中央大学	2(2)		2(2)
帝京大学	1	2	3
東海大学	1	4	5
東京家政大学	1(1)		1(1)
東京経済大学	1	2	3
東京工科大学	2(1)		2(1)
東京工芸大学		1	1
東京国際大学	2(1)	8	10(1)
東京電機大学	2(1)	1	3(1)
東京理科大学		2	2
東北福祉大学	1(1)		1(1)
東洋大学	23①	8	31①
東洋英和女学院大学	2		2
獨協大学	2		2
二松学舎大学	1(1)		1(1)
日本大学	2(1)	5	7(1)
日本歯科大学	1		1
法政大学	1(1)	1	2(1)
星薬科大学	1		1
武蔵大学		2	2
武蔵野音楽大学	1		1
武蔵野女子大学	1		1
明海大学	1		1
明治大学	2②	3①	5③
明治学院大学		3	3
明星大学	2	2	4
立教大学		2	2

卒業生進路状況 平成9年5月現在

1. 進学

	区分	現役			浪人			合計
		合格者数	うち推薦	うち2部	合格者数	うち推薦	うち2部	
四年制大学	国公立	5	1	1	-	-	-	5
	私立	101	22	5	71	-	2	172
短期大学	国公立	3	1	-	-	-	-	3
	私立	54	19	-	2	-	-	56
専門学校		73	27	-	4	-	-	77
計		236	70	6	77	-	2	313

2. 就職

	現役		
	男	女	計
公務員	3	3	6
会社	2	10	12
計	5	13	18

学校別

注：()は合格者の中での推薦合格者数

○印は合格者の中での二部合格者数

1) 四年制大学

〔国公立〕

大学名	現役	浪人	合計
(国立) 信州大学	1		1
筑波大学	1(1)		1(1)
三重大学	1		1
山形大学	1		1
(公立) 東京都立大学	1①		1①
国公立大学合計	5(1)①		5(1)①

〔私立〕

大学名	現役	浪人	合計
亜細亜大学	1	1	2
跡見大学女子大学		1	1
桜美林大学	1	1	2
神奈川工科大学	2	1	3

トラベルジャーナル旅行専門学校	1(1)		1(1)
日本ホテルスクール	2(1)		2(1)
東京外語専門学校	1		1
日本外国語専門学校	2		2
杉野ドレスメーカー女学院	1(1)		1(1)
武蔵野服飾美術専門学校	1		1
織田デザイン専門学校	1		1
東京コミュニケーションアート専門学校	1(1)		1(1)
東京デザイナー学院	1(1)		1(1)
東京ビジュアルアーツ専門学校	2		2
阿佐ヶ谷美術専門学校		1	1
中央美術学園	1		1
東洋美術学校	1(1)		1(1)
ESPMI ジャパン	1		1
国際音楽学校		1	1
千代田工科芸術専門学校	2(1)		2(1)
専門学校東京コンセルヴァトール尚美	2		2
バンタン芸術学院	1		1
東京愛大高等美容学園	1		1
日本動物学院	2(2)		2(2)
ネバタカルホルニア大学	1(1)		1(1)
専門学校合計	73(27)	4	77(27)

東京都立府中看護専門学校	1(1)		1(1)
東京歯科衛生専門学校	1		1
日本医歯薬専門学校	1(1)		1(1)
エコールキュリネール国立	1		1
東京調理師専門学校	1		1
武蔵野調理師専門学校	2(1)		2(1)
東京製菓学校	1(1)		1(1)
東京総合理容美容専門学校	2(1)		2(1)
東京マックス美容専門学校	1		1
東京スポーツ・レクリエーション専門学校	1(1)		1(1)
淑徳保育生活文化専門学校	1		1
東京都立立川高等保育学院	2		2
道灌山学園保育専門学校	1		1
東京福祉専門学校	1(1)		1(1)
津田スクール・オブ・ビジネス専門学校	1(1)		1(1)
東京国際情報ビジネス専門学校	3(2)		3(2)
東京情報ビジネス専門学校	2(1)		2(1)
東京パシフィック・ビジネスカレッジ	1		1
日本情報ビジネス専門学校	2(1)		2(1)
共立医療秘書専門学校	1		1
早稲田速記秘書専門学校	1(1)		1(1)
大原法律専門学校	1		1
東京法科学院専門学校	2(1)		2(1)

目白学園女子短大	2		2
山脇学園短大	2		2
私立短大合計	54(19)	2	56(19)

3) 専門学校

専門学校名	現役	浪人	合計
青山製図専門学校	1		1
中央工学校	1		1
東京科学電子工業専門学校	1		1
東京工科専門学校	1		1
東京工業専門学校	1		1
東京電子専門学校		1	1
工学院大学専門学校	1		1
日本情報システム専門学校	1		1
北区医師会高等看護専修学校		1	1
国立国際医療センター附属看護学校	1		1
国立埼玉病院付属看護学校	1		1
立川市立看護専門学校	1		1
東京医科大学看護専門学校	1(1)		1(1)
東京女子医科大学専門学校	1		1
東京都立板橋看護専門学校	1		1
東京都立豊島看護専門学校	4(2)		4(2)

示現会会員 (洋画)

2期A 若林成佳

〒104 東京都千代田区神田佐久間町1-8
ニュー千代田ビル608
Tel.03-3255-5973

彫刻家・東京造形大学教授

10期D 渡辺隆根

(大学) 〒192 東京都八王子市宇津貫町1556
Tel.0426-37-8111(代)
(自宅) 〒171 東京都豊島区长崎6-18-3
Tel.03-3957-2268

スペースコンセプト(株) 所長
一級建築士

日本工業大学建築学科教授

5期B 村口昌之

〒152 東京都目黒区中根1-3-12
第3ノアビル3F
Tel.03-5701-2131
Fax.03-5701-2132

旅のアドバイザー
(各団体・法人講演会講師)

2期A 河野一郎

自宅 〒176 東京都練馬区羽沢2-13-6
Tel.03-3993-4554
Fax.03-5340-3424

講談師 神田甲陽

(平成元年山陽師匠より真打ち認可)
第2の人生をたのしくと呼びかける。
旅費さえ下されば全国どこへでも。

3期B組 末利光 0552-53-8772

日本自動車ジャーナリスト協会
(AJAJ) 会員

5期B 福永 頌

(筆名 鈴木 五郎)

〒186 東京都国立市富士見台1-28-1-35-403
Tel.0425-77-3750

フラメンコ・スペイン舞踊教室
アトリエ・ラ・ダンサ

21期G 小林伴子

〒171 豊島区高田3-13-8 ヨシミビルB2
Tel.03-3980-5658
(自) Tel.0484-44-6627

学校法人丸島学園 城北ひまわり幼稚園
理事長・園長

12期A 丸島高三

〒114 東京都北区昭和町1-8-10
Tel.03-3800-1662
Fax.03-3893-5170
〒116 自宅 東京都荒川区西尾久8-27-20
Tel.03-3800-2517

古流松慶会家元・会長
千家表流茶道宗家

5期D 若林百合子

〒113 文京区千駄木2-31-4
(自) Tel.03-3821-9476
(勤) Tel.03-3827-7018

<p>株式会社 末商会 (出光ガソリン・貸ビル・自動車販売整備) 専務取締役 一期B 末 正明 (市三会会長)</p> <p>本社 〒112 東京都文京区後楽2-6-1 Tel. 03-3811-0755 Fax. 03-3815-7818 飯田橋 Tel. 03-3269-0257 神保町 Tel. 03-3261-5111</p>	<p>株式会社 八 洲 代表取締役 一期B 川 上 光 男</p> <p>〒114 東京都北区王子本町2-11-6 会社 Tel. 03-3909-3211 自宅 Tel. 03-3915-4665</p>	<p>弁 護 士 二期D 原 田 策 司</p> <p>事務所 〒104 東京都中央区銀座7-5-4 毛利ビル4F Tel. 03-3571-1780 自 宅 〒145 東京都大田区上池台3-30-1</p>
<p>勝村建設株式会社 代表取締役専務 5期D 市 川 英 雄</p> <p>〒110 東京都台東区根岸1-2-13 Tel. 03-3876-0111 (大代表) Fax. 03-3876-6900</p>	<p>一ッ橋印刷株式会社 代表取締役 四期C 菊 池 達 長</p> <p>会社 〒141 東京都品川区上大崎3-12-15 自宅 〒237 横須賀市湘南鷹取6-21-10 Tel. 0468-66-1493</p>	<p>弁 護 士 7期D 大 辻 正 寛</p> <p>事務所 〒102 千代田区九段北1-9-14 九段ハイム707号 Tel. 3239-4099 Fax. 3221-9460 自 宅 〒274 船橋市三山1-11-15 Tel. 0474-75-9401</p>
<p>植村設計事務所 一級建築士 7期D 植 村 邦 夫</p> <p>〒113 東京都文京区白山1-29-10 Tel. 03-3811-6612</p>	<p>二期A 樋 口 良 雄</p> <p>〒112 東京都文京区千石1-24-11 Tel. 03-3942-0450</p>	<p>宮本智法律事務所 弁護士 18期H 宮 本 智</p> <p>〒169 東京都新宿区北新宿1-8-23 アムハードビル7F 事務所 Tel. 03-5386-6911(代) 自 宅 Tel. 03-3926-5354</p>
<p>鉄筋コンクリート 鉄骨建物、木造住宅、店舗、デザイン・設計・施工 総合建設業 武 商事株式会社 10期B 武 禎 一</p> <p>Tel. 03-3941-2621 〒112 文京区小日向2-19-10</p>	<p>ライセンス保険事務所 1期AB 原 巍</p> <p>〒240 横浜市保土ヶ谷区仏向町874-1-11-101 自宅 Tel. 045-332-0673 会社 Tel. 045-312-5024</p>	<p>弁 護 士 25期F 藤 澤 知 之</p> <p>〒170 東京都豊島区巢鴨3-21-16 大坂屋ビル1階 藤澤法律事務所 Tel. 03-3949-3770 Fax. 3771</p>
<p>一級建築士事務所 加藤友和建築設計室 19期I 加 藤 友 和</p> <p>(事) 〒115 東京都北区赤羽2-56-10 Tel. 03-3903-4710 (自) 〒351 朝霞市朝志ヶ丘4-10-13-409 Tel. 048-474-2085</p>	<p>株式会社 トキメック 情報システムズ 営業部長 2期C 横 澤 靖 夫</p> <p>〒144 東京都大田区蒲田5-44-14(佐藤ビル) Tel. 03-3731-9841 Fax. 03-3735-8310</p>	<p>山岸税理士事務所 税理士 四期B 山 岸 英 二 郎</p> <p>事務所 〒162 新宿区下宮比町2 飯田橋ハイタウン531号 Tel. 03-3266-0789 自 宅 〒247 鎌倉市今泉台6-20-2 Tel. 0467-45-8033</p>
<p>くらしを考える水と空気のクリエイター 株式会社 トキタ 代表取締役 26期C 時 田 公 代</p> <p>〒174 東京都板橋区坂下1-17-19 Tel. 03-3960-7701(代) Fax. 03-3588-6980</p>	<p>高千穂産業株式会社 代表取締役 10期A 若 尾 迪 治</p> <p>〒114 東京都北区田端3-15-3-106 (会) Tel. 03-3822-1421 (自) Tel. 03-3827-3200</p>	<p>大橋特許事務所 弁理士 17期E 大 橋 邦 彦</p> <p>〒113 東京都文京区本郷5-1-16 NP-IIビル11階 事務所 Tel. 03-3814-5921 自 宅 Tel. 03-3957-1533</p>

<p>光陰矢の如し 今を大切に!! 医療法人代表・税理士</p> <p>四期C はいばら富士雄</p> <p>〒115 東京都北区志茂1-17-13 Tel.03-3901-8554</p>	<p>高松診療所(産婦人科) 所長</p> <p>一期B 野久保 泰 徳</p> <p>〒190 東京都立川市高松町2-2-14 Tel.0425-27-3541</p>	<p>野村医院 院長</p> <p>一期B 野 村 総一郎</p> <p>〒302 取手市桑原1081 Tel.0297-74-8811</p>
<p>水谷歯科診療所</p> <p>3期E 水 谷 義 文</p> <p>病院 〒101 千代田区外神田1-16-1 万世ビル2階 Tel.03-3253-9186 自宅 〒340 草加市西町435-1 Tel.0489-28-7541</p>	<p>小室産婦人科医院 院長</p> <p>三期E 小 室 陽 一</p> <p>〒114 東京都北区岸町1-12-22 病院 Tel.03-3907-0303 自宅 Tel.03-3907-0280</p>	<p>虎の門 日比谷クリニック (皮膚科・泌尿器科・形成外科 健保扱い)</p> <p>一期C 山 中 秀 男</p> <p>自宅 〒152 東京都目黒区本町4-8-20 Tel.03-3714-9513 医院 〒105 東京都港区虎ノ門1-1-20 Tel.03-3508-2508</p>
<p>静谷歯科医院(歯科一般)</p> <p>4期D 静 谷 栄 夫</p> <p>(午前) 〒170 豊島区駒込3-11-3 Tel.03-3915-1108 (午後) 〒170 豊島区西巣鴨3-8-15 Tel.03-3915-0072</p>	<p>中村耳鼻咽喉科医院</p> <p>一期C 中 村 信 成</p> <p>〒262 千葉市花見川区幕張町5-252-39 Tel.(医院)043-273-7026 Tel.(自宅)043-272-6625</p>	<p>二期A 湖 山 聖 道</p> <p>・医療法人社団 湖聖会 理事長 銀座医院 Tel.03-3541-1151 銀座健康管理センター Tel.03-3541-3340 〒104 東京都中央区銀座7-13-15 ・湖山病院 名誉院長 Tel.0545-36-2000 ・社会福祉法人苗場福祉会 理事長 老健施設 みさと苑 Tel.0257-65-3400</p>
<p>老人保健施設 四恩苑 理学療法士</p> <p>5期E 椎 名 健 二</p> <p>施設 〒329-42 栃木県足利市多田木町1168-1 Tel.0284-91-4800 自宅 〒112 文京区水道2-11-4 Tel.03-3943-3912</p>	<p>大蔵耳鼻咽喉科医院</p> <p>2期A 大 蔵 丈太郎</p> <p>〒170 東京都豊島区南大塚2-11-8 Tel.03-3947-8733</p>	<p>静谷クリニック(内科)</p> <p>四期B 静 谷 晴 夫</p> <p>〒170 東京都豊島区西巣鴨4-6-2 病院 Tel.03-3910-1136 自宅 Tel.03-3910-1219</p>
<p>有限会社 フェアリーハウス (妖精の家) コーヒー・ウイスキー&レストラン 代表取締役</p> <p>三期E 小野田 孝</p> <p>〒114 東京都北区西ヶ原4-61-11 Tel.店 03-3949-0404 Tel.自宅03-3910-1434</p>	<p>大橋耳鼻咽喉科医院</p> <p>5期B 大 橋 順 二</p> <p>〒114 東京都北区滝野川6-9-11 Tel.03-3916-8787</p>	<p>中村クリニック</p> <p>3期B 中 村 博</p> <p>〒170 東京都豊島区南大塚2-32-3 自宅 Tel.3944-4103 医院 Tel.3945-8072</p>
<p>有限会社 小室米店 ユーマート ゆしま店 取締役社長</p> <p>19期E 小 室 茂</p> <p>〒113 東京都文京区湯島2-11-7 Tel.03-3811-1085</p>	<p>株式会社 サトウケミカル 医薬部外品製造販売/化粧品製造販売</p> <p>4期C 佐 藤 佳 男</p> <p>〒352 新座市野火止8-16-7 会社 Tel.048-481-2323 自宅 Tel.048-474-8456</p>	<p>津田沼病院 院長</p> <p>8期D 梶 本 伸 一</p> <p>〒275 千葉県習志野市津田沼1-18-45 Tel.0474-79-2611 Fax.0474-79-2674</p>

奨学基金 協力者 (1口 5,000円)

平成8年8月～9年7月 (卒期の漢数字は旧制です。)

8口	河野 進	1 A	1口	堀内 勝彦	2 D
4口	石引 昭	2 D		川名 弘一	3 C
				水谷 義文	3 E
2口	柳沢 融	一C		太田 往男	5 B
	橋本 嘉夫	二B		井手 俊男	6 B
	伊藤 健三	四A		清野 公夫	6 B
	望月 太海	1 A		梶本 伸一	8 D
	清水 一彦	2 A		清水 悦子	9 B
	小林 悦朗	7 A		石井 禎郎	9 F
	殿塚 猷一	7 D		菅野 輝男	11C
	梅澤 隆子	8 A		杉本 安弘	12C
	宮田 淳	8 B		長縄 光男	12C
	小笠原紀利	11A		石渡 博之	13B
	宮川美知子	25C		村田 佑	13B
				鈴木 孝	13C
1口	坂井 昭三	一B		菊地 賢三	16G
	末 正明	一B		唐橋幸市郎	18H
	山下 雅夫	二B		伊原 安明	18 I
	吉野 雅博	二E		小杉 茂夫	19D
	篠原 荘輔	三C		田中 道子	19F
	藤ヶ谷敏明	三C		中嶋美地世	20H
	白石 佳正	三D		野口 秀子	22G
	後藤正八郎	三E		佐々木千尋	23B
	小室 陽一	三E		渡辺 公平	25A
	永山 升三	三E		遠藤 純子	25 I
	新倉 和夫	三E		羽場 弘明	27C
	山岸英二郎	四B		鴨田由利子	27G
	尾形 悦郎	2 D		山下 友久	32D

(奨学金については、現在卒業時の表彰で、その年の振込額前後が支出されています。)

同窓会運営協賛金等協力者

平成8年8月～9年7月

払込票の「その他」として、通信費・カンパ等をいただきましたが、それらも含めました。総額 299,500円でしたが、個々の金額は多様ですので省かせていただきました。

(卒期の漢数字は旧制です。)

鈴木 二郎	一A	太田 往男	5 B	平野 時英	14 F
末 正明	一B	林 敏子	5 D	菊地 賢三	16 G
柳沢 融	一C	木下 昌宏	6 B	落合レイ子	17 E
吉岡 昭彦	一C	高野 久子	7 A	大橋 元紀	18 D
吉野 雅博	二E	大倉 邦夫	7 B	野口 末子	18 G
藤原 滋	三A	殿塚 猷一	7 D	赤松かの子	19 B
佐藤 有道	三C	中尾 充広	7 E	石井 義隆	19 D
篠原 荘輔	三C	田中 容子	8 A	島田 啓子	19 E
藤ヶ谷敏明	三C	鹿島 智己	8 D	中嶋美地世	20 H
白石 佳正	三D	梶本 伸一	8 D		
小室 陽一	三E	小松 征子	8 F	佐々木千尋	23 B
永山 升三	三E	石井 禎郎	9 F	稗田 真也	23 C
新倉 和夫	三E	落合由利子	10 B	江利川みどり	23 H
		関根 五男	10 D	中島はるみ	23 H
河野 進	1 A			伊藤 昭良	24 G
原 巍	1 AB	岡村 良子	11 A	渡辺 公平	25 A
清水 一彦	2 A	青山 一郎	11 C	岸 寛	25 B
長縄源太郎	2 B	小貫 京子	12 A	宮川美知子	25 C
浜田 矩彦	2 B	大見 信雄	12 C	羽場 弘明	27 C
長谷川 徹	2 D	杉本 安弘	12 C		
堀内 勝彦	2 D	園部 禮子	12 E	斉藤 順久	34 E
水谷 義文	3 E	高木 元道	14 A	宮崎 茂幸	34 I
榎本 幸三	4 E	滝沢 功忠	14 C	藤原 佳奈	45 B
望月 康男	4 E	原田雄一郎	14 E		

昭和49年、13名で発足。現在は旧制一期～新制20期までの同窓生のサロンとして会員数は約140名。例会は毎月13日(イチサンに因む)前後に開き、毎回13人を超える盛会ぶり。入会希望者は世話人まで。

同窓有志のサロン 市三会

世話人：末 正明(一B) 川上光男(一B)、榎本幸三(4 E)

※なお詳しくは末 正明まで 〒112 文京区後楽2-6-1 Tel. 03-3811-0755

株式会社 齊藤商店 (精肉・食品卸)
代表取締役

29期F 齊藤智夫

〒112 東京都文京区白山5-1-15

Tel. 03-3815-5771

Fax. 03-3816-2981

Tel. 03-3815-0029

編集後記

「終わった」という安堵感で一杯。「紫筍」編集も四作目だが最も苦しかった。▼6月25日の役員会で編集方針の承認を得て作業開始の筈、勤務は7月異常に多忙。作業は遅れ気味。▼最後の勝負は集中力と追いこまれた時の精神力。8月15日(金)夕方17日(日)正午まで一気に作業。8月17日午後、大部分の原稿を印刷所に入稿。▼残り分を18日夜と19日夜に書く。この編集後記を書きはじめてから時計は20日に▼8月20日は恩師横山正明先生の七回忌。今夕級友十数人と御自宅に弔問。実質的なクラス会。顧みると文京に入学

して40年▼最近「年齢と世代」ということを考えさせられる。旧制一期生は古稀。剛彰大先輩の如く彼岸に旅立つ方が多くなった。▼村口氏(5期)のように学制改革に翻弄されながら「クジにはずれましよう」と居直る(?)たくましさ。▼「中高一貫六年制」は体験済と1、4期生。但し戦災とひもじさ付。▼いよいよ世紀末。生活の閉塞感。住専、官僚不祥事、金融業界の総会屋問題、ゼネコンの経営不安、国債・地方債合わせて五百兆円、官界も愈々リストラの組上に。そして医療費の値上げ。▼こういう時は旧友と酒でも飲みながら「生き残り」の知恵と英気を養いましょう。(杉本安弘)

平成9年度同窓会予算案

[平成9年4月1日～平成10年3月31日]

会長 静谷晴夫(四期B)

〔財産目録〕	
〔預金合計〕	40,925,580円
基本財産	
(+1,000,000)	30,800,000
奨学基金	
(+20,000)預金利息含まず	6,690,332
会館建設基金	
(据置)預金利息含まず	3,435,248
〔収入合計〕 11,029,603円	
前年度繰越金	4,449,603
入会金(終身会費)	
(15,000×320名)	4,800,000
預金利息	230,000
賛助金・奨学金・運営協賛金	1,300,000
同窓生の集い会費	250,000
〔支出合計〕 8,660,000円	
名簿発行	2,000,000
名簿(コンピュータ化費)	1,000,000
会報(紫筍)発行	2,700,000
奨学金交付	400,000
部活動後援	50,000
進路報告はがき	40,000
同窓生の集い開催費	500,000
慶弔費会	50,000
幹事会	
(お茶代・交通費・通信費)	100,000
運営費	
(通信・交通・記録・用品等)	300,000
予備費	
(校歌祭・調査費・その他)	500,000
〔積立金〕基本財産	1,000,000
奨学基金	20,000
〔繰越金〕(期初運営費)	2,369,603円

卒業クラスの名簿の空白部分を埋めましょう。また誤り・変更がある場合も同窓会宛、葉書または封書で連絡いたしましょう。同窓生一人ひとりの小さな心づかい・行動が同窓会活動の基本です。同窓会への連絡は、〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨1-1-5 東京都立文京高等学校 同窓会宛 郵送にてお願いいたします。

平成8年度同窓会会計報告

[平成8年4月1日～平成9年3月31日]

会計担当 太田敏夫(3期A)

〔財産目録〕	
〔預金合計〕	39,905,580円
基本財産	
(信託預金・定額郵便貯金)	29,800,000
奨学基金(含む累積利息)	6,670,332
会館建設基金(含む累積利息)	3,435,248
〔物品〕	
書庫4・金庫2・手提げ金庫1・机2椅子1	
ストープ1・カメラ3・三脚1・	
ワープロ1(シャープ書院WD-X800)	
〔収入合計〕 11,357,468円	
前年度繰越金	4,742,470
入会金(終身会費)	
(14,500×325名)-824円	4,711,676
預金利息	233,322
賛助金・奨学金・運営協賛金	1,309,000
同窓生の集い会費	
(3000×83)・寄付・祝儀	361,000
〔支出合計〕 6,907,865円	
名簿発行	
(3,900×420冊)・枚葉(398組)	1,926,661
会報(紫筍)印刷・宛名書・	
郵送料・振込書・封筒他	2,542,412
奨学金交付(図書券)	
(10,000×37)	370,000
部活動後援	20,000
同窓生の集い開催直接費	397,116
慶弔費会	36,742
幹事会	
(お茶代・交通費・通信費)	80,983
運営費	
(通信費・交通・記録・用品等)	227,730
予備費	
(校歌祭参加後援)	90,721
(母校後援)	125,500
(幹事確認費用)	70,000
名簿コンピュータ化費用	0
中学校宛学校案内他	0
進路報告はがき他	0
〔積立金〕基本財産	1,000,000
奨学基金	20,000
〔繰越金〕	4,449,603円

平成9年4月14日 会計監査
監査の上正確であることを認証します。

八木 俊雄 印
河野 一郎 印



『紫筍』

第40号・1997年

発行・平成9年9月10日

発行者・東京都立文京高等学校同窓会『紫筍』編集委員会

〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨一丁目一番五号 東京都立文京高等学校内

印刷／シミズ印刷